

【はじめに】

保護者の皆様、お忙しい中、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。今年度の結果を以下の通り（詳細な点数などについては別紙の通り）報告します。

1 学校評価アンケートについて

(1) 実施期間 令和3年12月

(2) 回答者 児童生徒(小学部以上31名) 保護者33名(寄宿舍保護者8名)
教員45名 寄宿舍指導員 11名

(3) 評価の区分及び採点方法 4段階評価と自由記述

そう思う(教職員は「できている」)=2 だいたいそう思う=1

あまりそう思わない=-1 そう思わない=-2・・・平均値を算出。

(保護者アンケートは「分からない」を除いた人数で計算。)

2 調査結果について

(1) 教職員による自己評価

15の評価項目のうち、「できている」「だいたいできている」を合わせると100%だったのが7項目ありました。3項目は98%であることから、概ね良好な結果と考えます。しかし、「進路指導(教職員4)」「読書指導(教職員5)」に関しては、平均1を下回っているので、担当する分掌部が改善策を検討中です。また、寄宿舍の行事(寄宿舍6)も平均1を下回っており、コロナ禍ということで十分な取り組みができていなかったのも、ウィズ・コロナの考えのもと、感染症対策を徹底しつつも可能な活動を模索していきます。

(2) 学校関係者評価

① 児童生徒

児童生徒が自分の生活を振り返るという視点に加え、授業の分かりやすさについて新しく項目を起しました。(児童生徒10)この項目では、97%のお子さんが「そう思う」「おおよそそう思う」と答えています。生活面についても昨年度より向上している項目が多く、本校の目指す姿のひとつである、「自己肯定感」が上がってきているのではないかと感じます。

② 保護者

「聴覚障がい配慮した教育(保護者4)」の項目で昨年度より高く評価していただきました。しかし、4項目で、「できている」「大体できている」を合わせても90%に届かないことが分かりました。特に、部活動などの課外活動については、コロナ禍で大会が中止になったり日常の活動にも制限があったりなどして、十分に活動で来ていなかったと思います。また、「読書指導(保護者5)」や「進路指導(保護者7)」についても教員の取組みを充実させ、保護者の方にも更なる発信をしていかなければならないと考えます。自由記述でいただいたお褒めの言葉は、大変ありがたく思います。ご指摘いただいた点については、すぐ改善に取り組んでいます。

【終わりに】

いただいた評価を参考に、今後もよりよい学校づくりを進め、子どもたちの生きる力を伸ばして参りたいと思います。様々なご協力をよろしくお願いします。